



90th anniversary

90年の歴史を刻み、新たな未来へ——。



校歌

一、漲る水の大淀川の
光も清く曳くところ
浪速若人と名を負いて
古き歴史は亡ぶとも
高き匂いに咲く花の
築かん國に燃ゆる火の
文化の都興さずや
若き生命を捧げずや
廢墟に繋る雑草に

二、
三、
四、

一、
二、
三、
四、

焦土に揚る再建の大
き力と起き上り
湊を洗う海潮の
流れで止まぬこの水に
続く世界に眼を開き
世紀の魂を磨かずや

作詞 横山藤吾
作曲 牧野卓央

HOKUYO Greeting

90周年に寄せて

90th anniversary

北陽高校、創立90周年にあたって



学校法人関西大学
理事長
池内 啓三

この度、関西大学北陽高等学校が、前身である北陽商業学校の創立から数えて90周年の佳節を迎えたことは、誠に慶賀の至りでございます。

2007年3月に調印された学校法人関西大学と学校法人福武学園の法人合併は、当時、全国で学校法人の合併や買収が進んでいたとはいえ、本法人にとっては前例のことであり、大変身の引き締まる思いであったことを、鮮明に記憶しております。

一方で、年史をひもときますと、北陽高等学校が本法人の一員となるのが、最初から運命付けられていたように思われるの、私一人ではないと考えます。

創始者の山岡倭氏が「関西大学中興の祖」と呼ばれる山岡順太郎先生のご子息であり、初代校長の糸島実太郎先生が関西大学専門部経済学科のご出身であることはよく知られていますが、さらに、創立に至るまで糸島先生の相談に乗ったのが、当時の関西第二商業学校(現在の関西大学第一高等学校)校長の木下孫一先生であったことからも、強い結びつきを感じざるを得ません。

さて、本校は法人合併後、男子校から共学校に生まれ変わり、また、2010年には北陽中学校を開校するなど、時代の変化に対応しながら、進化を続けております。

北陽高等学校時代82年間の良き伝統を受け継ぎながら、関西大学北陽高等学校8年間の取組みを生かして、「考動する人材」を育成することが、全教職員の大きな使命であると考えています。

北陽高等学校が、この90周年を機に、関西大学、他の併設校と手を携えて更なる充実を図りますます発展を遂げるよう願っております。



北陽高校、創立90周年の節目を迎えて



関西大学北陽高等学校・中学校
校長

田中 敦夫

関西大学北陽高等学校・中学校の母体となる北陽高校が、創立90周年の節目を迎えることができました。これまで長きにわたりご支援を賜りました皆様方、さらに本校において力を尽くされました先輩教職員の方々に対しまして、心からの敬意と感謝の意を表します。

大正14年に開校以来、知徳体の調和のとれた人間の育成を建学の精神とし、社会貢献、国際貢献ができる人材を社会に送り出す学校を目指し、教育活動を行っています。平成20年に関西大学の併設校として新たなスタートを切り、平成22年には中高一貫教育を推進するため中学校が開校し、さらに、中学1期生が高校に進学すると同時にコース改編を行いました。時代を超えて変わらない建学の精神を大切に、時代の変化とともに変えていく必要があるものに柔軟に対応していく、「不易流行」をモットーに特色ある学校づくりに邁進していきます。

これまでの良き伝統を踏襲しつつ、さらなる発展に向け努めてまいりますので、今後とも皆様のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後に、90周年記念式典に際し、ご尽力、ご協力いただきました同窓会、PTA、旧教職員の方々、記念誌において、ご寄稿賜りました皆様に深く感謝申し上げまして、御礼のご挨拶いたします。



「関大北陽」創立90周年の節目を迎えて



関西大学北陽高等学校
同窓会会長

岡田 彰布

同窓会の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

一昨年に同窓会会長を任せられ、同窓会の充実、発展をめざし一丸となっておりましたが、創立90周年というメモリアルイヤーに、身に余る大役を務めさせていただくことは誠に光栄です。

改めて言うまでもありませんが、われらが母校には様々なフィールドで活躍されている多彩な人材がそろっておられます。このほど在学中、サッカーチームに所属していた又吉直樹さんが芥川賞を受賞しました。日本純文学界の最高の栄誉である賞に選ばれたことは、母校にとってこれほどない朗報となり、OBの一人として誇りに思います。

自由な校風のもと、諸先輩は何ごとも果敢に挑戦するチャレンジャー精神で、母校の伝統を築き上げてきました。今年は創立の記念すべき節目となりましたが、100周年、さらにその先を見据えて一步踏み出す年でもあります。次の世代を継承する後輩たちには希望と期待、そして魅力にあふれた大きな可能性があります。長い歴史の重みを感じながら、一人一人の個性をエネルギーにして、新しい「関大北陽」を校史に刻み付けてください。

最後になりましたが、同窓会各位におかれましては、なお一層のご活躍を祈念いたすとともに、更なる発展のため、今後ともご支援、ご協力のほど宜しくお願ひいたします。

創立90周年、心からお慶び申し上げます



関西大学北陽高等学校・中学校
PTA会長

西原 武一郎

関西大学北陽高等学校の母体である北陽高等学校が創立90周年を迎られましたことを心からお慶び申し上げます。この激動と変革の長い歳月の中で「知・徳・体の調和とれた人間性の形成」を目指す教育のもと、歴代校長先生はじめ教職員、同窓会、PTA会員の皆様方の並々ならぬご努力により優れた数多くの卒業生の活躍には深く敬意を示す次第でございます(最近では芥川賞を受賞された又吉さんは素晴らしいですね)。

現在は伝統ある北陽高校と伝統ある関西大学が一緒に新しい文武両道の伝統を創り上げています。元気で明るい校風で体育祭や文化祭の行事には特に熱心で我々も見ていて圧倒されます。施設面でも新総合体育馆が完成し、グラウンドが全面人工芝になり生徒たちも伸び伸びと自分の夢に向かって努力する環境が整っております。

今後とも、関西大学北陽高等学校が素晴らしい伝統を継承し、大いなる飛躍を願うとともに、校長先生はじめ諸先生方、同窓会の皆様方の今後ますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

「山南為陽(山の南を陽と為す)」一開校の翌年、千里の山並みを北に仰ぐ下新庄の長閑な田園の中に、チョコレート色の屋根の学校が完成する。ここに北陽の歴史は本格的に歩み始めた。

大正14年(1925) 3月 関西大学の山岡順太郎学長の子息・山岡倭氏が設立者となり、文部省から学校設立の許可が下りる



創設当時の校舎全景

4月 甲種北陽商業学校(一部・二部[夜間部])が開校

4月 糸島實太郎氏、初代校長に就任

*校舎は長柄の淀之水女学校の仮校舎を借用



大正15年(1926) 3月 大阪市東淀川区下新庄町2-141(当時に校舎を新築



本校主催全関西中学校・小学校雄弁大会

昭和3年(1928) 講堂が完成

昭和8年(1933) 【クラブ活動】

・剣道部:中尾巖(明治神宮大会優勝)



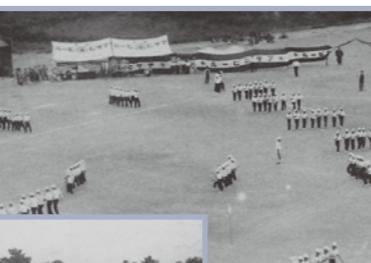
昭和16年(1941) 5月 山岡倭氏、逝去

昭和19年(1944) 3月 戦時非常措置令により財団法人福武学園が北陽商業高校を買収・合併し、財団法人福武学園北陽工業学校と改称

3月 糸島實太郎氏、退職



4月 横山藤吾氏、第2代校長に就任



昭和21年(1946) 4月 終戦に伴い、財団法人福武学園北陽商業学校と改称

5月 横山藤吾氏、退職

5月 市川与一氏、第3代校長に就任



千里山の闘大グラウンドでの陸上運動大会



軍事教練

10月 市川与一氏、逝去

10月 宮崎勝氏、校長事務取扱

昭和35年、生徒数の増加により阪急京都線沿いに鉄筋4階建ての円形校舎を建設。
当時、関西で4番目のモダンな校舎であった。

昭和22年(1947) 3月 八沢俱好氏、第4代校長に就任



1925~



相撲部



4月 新学制により北陽中学校を併設
【クラブ活動】
・ボクシング部:全国大会出場(優勝)

昭和23年(1948) 4月 学制改革により北陽商業高等学校と改称

12月 八沢俱好氏、退職

12月 福武平十郎氏、校長事務取扱



昭和24年(1949) 2月 三雲宗敏氏、第5代校長に就任



3月 北陽高等学校と改称、普通科と商業科を設置

昭和25年(1950) 9月 ジーン台風により校舎破損

昭和26年(1951) 3月 私立学校法制定により、財団法人から学校法人に組織変更

昭和28年(1953) 4月 北陽中学校を休校
6月 北陽幼稚園を併設 *三雲校長が園長を兼任

昭和32年(1957) 7月 鉄筋4階建て円形校舎が完成
【クラブ活動】
・相撲部:全国大会出場(団体準優勝)

昭和34年(1959) 3月 上新庄に用地を取得し、第2グラウンドとして使用
*現在の校舎の敷地
【クラブ活動】
・ボクシング部:全日本選手権大会(小林フェザー級優勝、千代ライテ級準優勝)

昭和35年(1960) 11月 鉄筋3階建て校舎(本館)が完成
【クラブ活動】
・相撲部:国体(団体)出場
*昭和42年まで連続出場

昭和37年(1962) 7月 若狭高浜に木造2階建ての海の家が完成
*平成17年閉鎖

昭和38年(1963) 3月 幼稚園を廃園
6月 鉄筋2階建て生徒食堂が完成

昭和39年(1964) 3月 第2グラウンドに鉄筋3階建て総合体育館が完成
【クラブ活動】
・軟式野球部:全国選手権大会出場

昭和40年代(1965~1974)

松岡英孝監督率いる硬式野球部の甲子園出場に続いて、
野々村征武監督率いるサッカー部がインターハイ出場を果たす。
ともに獅子奮迅の活躍を見せ、北陽の名を全国に轟かせた。

昭和40年(1965) 6月 第2グラウンドの体育館隣に屋外プールが完成

昭和41年(1966) 【クラブ活動】
・硬式野球部:第48回全国選手権大会に初出場(2回戦)
・相撲部:全国大会出場(団体3位)

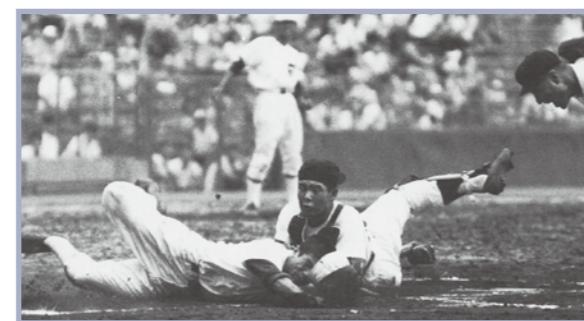
昭和42年(1967) 【クラブ活動】
・サッカー部:インターハイに初出場(2回戦)

昭和43年(1968) 10月 鉄筋2階建て校舎(別館)が完成
【クラブ活動】
・水泳部:東田安弘(インターハイ高飛込み優勝、総合3位)
・軟式テニス部:インターハイ出場(津守・小林組)

昭和44年(1969) 4月 定時制の募集を停止
【クラブ活動】
・相撲部:国体(団体)出場
・水泳部:東田安弘(インターハイ飛板、高飛込み準優勝、
総合準優勝)



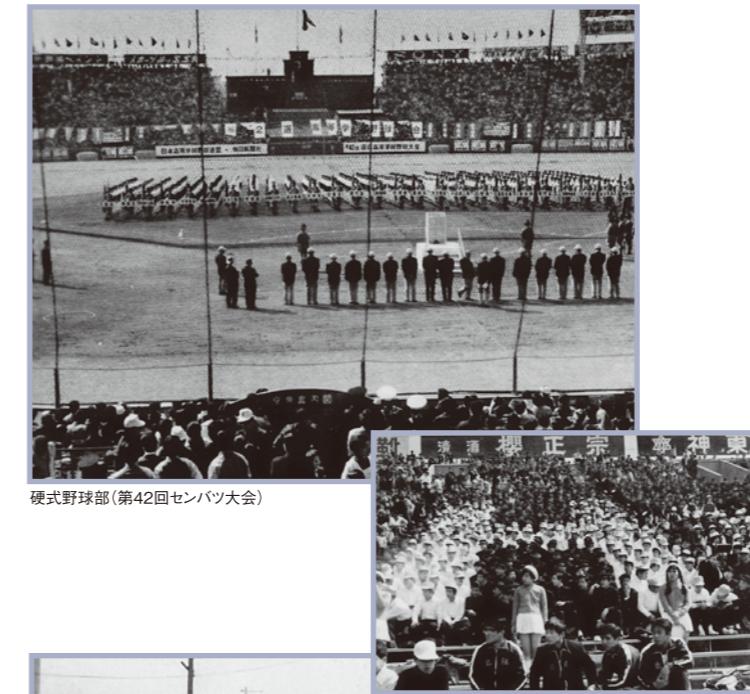
体育館隣の屋外プール



硬式野球部(第48回全国選手権大会)



サッカー部



昭和45年(1970)

【クラブ活動】
・硬式野球部:第42回センバツ大会に初出場(準優勝)
・水泳部:東田安弘(インターハイ飛板飛込み優勝、高飛
込み3位、総合優勝)

昭和46年(1971) 3月

三田市に山の家の用地を取得

昭和47年(1972) 3月

庄田範雄氏、退職

庄田範雄氏、第6代校長に就任



4月 定時制を廃止

【クラブ活動】
・サッカー部:インターハイ出場(3回戦)

昭和48年(1973) 12月

商業科の募集を停止

【クラブ活動】
・サッカー部:インターハイ出場(準優勝)
・硬式野球部:第45回センバツ大会出場(1回戦)、
第55回全国選手権大会出場(準々決勝)

昭和49年(1974)

【クラブ活動】
・サッカー部:第52回全国大会に初出場(優勝)、
インターハイ出場(3位)
・自転車競技部:インターハイ出場、国体出場
*インターハイは昭和52年まで連続出場



昭和54年、青春の舞台は現在の校舎へと移る。生徒数は急増し、全国大会に出場して活躍するクラブも増えて、学校は活気にあふれた。

昭和50年(1975) 3月 庄田範雄氏、退職
4月 木村鉄夫氏、第7代校長に就任



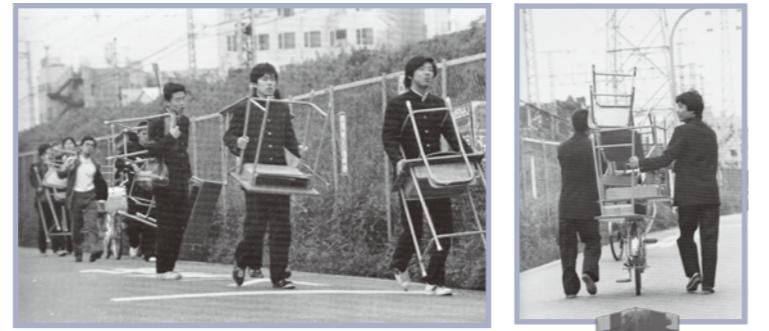
サッカー部の練習風景

4月 理科コースを設置
【クラブ活動】
・サッカー部:インターハイ出場(3回戦)



サッカー部(第56回全国大会)

昭和51年(1976)
【クラブ活動】
・硬式野球部:第48回センバツ大会出場(準々決勝)



全教職員・生徒による大移動

昭和52年(1977) 4月 木村鉄夫氏、退職
9月 林敏夫氏、第8代校長に就任



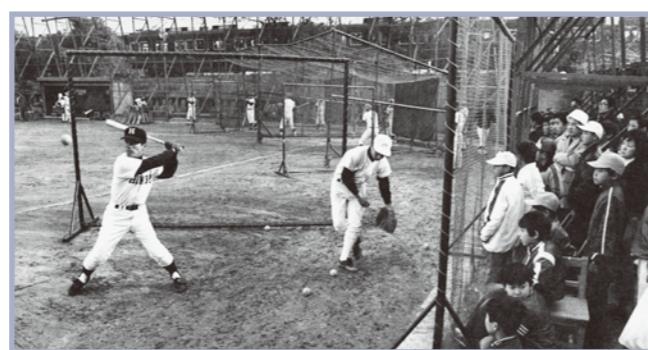
【クラブ活動】
・サッカー部:インターハイ出場(2回戦)

昭和53年(1978)
【クラブ活動】
・サッカー部:第56回全国大会出場(3位)、
インターハイ出場(優勝)
・軟式テニス部:インターハイ出場(河野・北山組)

昭和54年(1979) 5月 上新庄の第2グラウンドに鉄筋5階建て校舎が完成
*現在の校舎

【クラブ活動】
・サッカー部:インターハイ出場(3回戦)
・陸上競技部:松畑佳明(インターハイ槍投げ5位)
・自転車競技部:インターハイ出場

昭和55年(1980)
【クラブ活動】
・サッカー部:第58回全国大会出場(3位)
・硬式野球部:第52回センバツ大会出場(1回戦)、
第62回全国選手権大会出場(1回戦)
・アイスホッケー部:国体出場



第52回センバツ大会出場を決めて練習に励む硬式野球部



硬式野球部の練習グラウンド

昭和56年(1981) 4月 新制服(濃紺色の詰襟)を採用
【クラブ活動】
・サッカー部:第59回全国大会出場(1回戦)、
インターハイ出場(3回戦)
・硬式野球部:第63回全国選手権大会出場(3回戦)
・水泳部:西川一紀(全国JOC平泳ぎ9位)
・アイスホッケー部:国体出場
・柔道部:大賀弘敏(全国大会出場)

昭和57年(1982) 7月 硬式野球部専用の第2グラウンド(摂津市)が完成
【クラブ活動】
・アイスホッケー部:国体出場

昭和60年(1985)
【クラブ活動】
・サッカー部:第63回全国大会(準々決勝)
・水泳部:松岡恒(全国JOC自由形8位)、
伊藤彰二(全国JOC自由形準優勝)

昭和61年(1986)
【クラブ活動】
・サッカー部:第64回全国大会出場(1回戦)、
インターハイ出場(3回戦)

昭和62年(1987) 5月 第2グラウンド(摂津市)の隣地に全天候型テニスコートが完成
【クラブ活動】
・サッカー部:インターハイ(3回戦)
・水泳部:インターハイ出場(400mリレー3位)、
松岡恒(インターハイ5位)、
伊藤彰二(インターハイ7位)

昭和63年(1988)
【クラブ活動】
・サッカー部:第66回全国大会出場(1回戦)、
インターハイ出場(3回戦)
・硬式野球部:第60回センバツ大会出場(1回戦)
・陸上競技部:保地弘之(インターハイ8種競技5位)



サッカー部(第66回全国大会)



水泳部



硬式野球部(第60回センバツ大会)



田中義信氏(昭和18年卒)による揮毫

1975~

HOKUYO History

平成元年(1989)～平成16年(2004)

激動の昭和が終わり、時代は平成へ。
コース制の導入、施設の充実、制服の刷新など
新たな時代を開拓する気概を持って様々な改革を行い、
教育環境の向上を図った。

平成元年(1989) 4月

英国クラスを設置
【クラブ活動】
・サッカー部：インターハイ出場(3位)、
全日本ユース出場(準々決勝)
・水泳部：井上貴晶(インターハイ優勝、国体優勝)

平成2年(1990) 4月

特進クラスを設置
【クラブ活動】
・サッカー部：第68回全国大会出場(3回戦)、
インターハイ出場(3位)
・硬式野球部：第62回センバツ大会出場(ベスト4)

平成3年(1991)

【クラブ活動】
・サッカー部：全日本ユース出場(準々決勝)
・陸上競技部：インターハイ出場

平成4年(1992) 3月

情報処理室が完成
4月
コース制を設置(文I・文II・理数・英国・特進)
【クラブ活動】
・サッカー部：第70回全国大会出場(2回戦)、
インターハイ出場(3回戦)
・水泳部：井上伸次(インターハイ3位)

平成5年(1993) 6月

室内温水プール、小体育馆が完成
【クラブ活動】
・ハンドボール部：第16回全国高校選抜大会初出場(準優勝)
・将棋部：NHK杯争奪戦(3位)

平成6年(1994)

【クラブ活動】
・硬式野球部：第66回センバツ大会出場(2回戦)、
第76回全国選手権大会出場(3回戦)
・水泳部：板東将庸(インターハイ7位、全国JOC2位)

平成7年(1995) 4月

新制服(濃紺色のダブルブレザー)を採用
【クラブ活動】
・サッカー部：第73回全国大会出場(1回戦)、
インターハイ出場(3位)、全日本ユース出場(準々決勝)



サッカー部(第68回全国大会[大阪予選決勝])



硬式野球部(第62回センバツ大会)



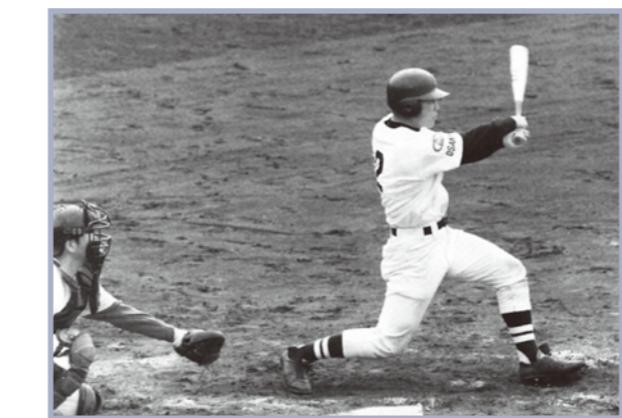
室内温水プール(左)、小体育馆(右)



新制服の採用



ハンドボール部(第16回全国高校選抜大会)



平成9年(1997)



平成10年(1998)



平成11年(1999)



平成12年(2000)

1989～



1999年頃の全景

【クラブ活動】

・軟式野球部：第42回全国選手権大会出場(1回戦)、
国体出場(3位)
・ハンドボール部：インターハイ出場

【クラブ活動】

・軟式野球部：第43回全国選手権大会出場(2回戦)、
国体出場(3位)

【クラブ活動】

・硬式野球部：第81回全国選手権大会出場(1回戦)

エレベーターを設置

【クラブ活動】
・水泳部：山田卓(インターハイ6位)

【クラブ活動】

・水泳部：山田卓(インターハイ5位)、
全国JOC出場(400mリレー2位)

林敏夫氏、退職

大谷宗平氏、第9代校長に就任



アドバンスクラスを設置
大阪経済大学と高大連携協定を結ぶ

岡山理科大学と高大連携協定を結ぶ
体育馆とグラウンドの改修工事を実施

12月 2学年全員の海外修学旅行(サイパン島)を実施



岡山理科大学との高大連携協定調印式

HOKUYO History

平成17年(2005)～平成20年(2008)

平成20年、北陽高校は関西大学の併設校として生まれ変わった。

北陽創設での関西大学との“縁”が、80数年の時を経て再び結ばれ、
北陽は新しい歴史を刻み始めた。

平成17年(2005) 3月 大谷宗平氏、退職
4月 鈴木清士氏、第10代校長に就任



8月 クラブ展示室が完成
10月 創立80周年記念式典を開催
【クラブ活動】
・水泳部:全国JOC[夏季]最優秀クラブ賞
・ジャズバンド部:第21回ジャパンスクチューデント
ジャズフェスティバル(ベストスティング賞)

平成18年(2006)
【クラブ活動】
・水泳部:全国JOC[春季]最優秀クラブ賞
・ジャズバンド部:第22回ジャパンスクチューデント
ジャズフェスティバル(優秀賞)

平成19年(2007) 3月 学校法人関西大学と学校法人福武学園が
合併基本契約を調印
4月 両法人の合併推進協議会を設置
4月 新コース(アドバンス・スタンダード・キャリア・スポーツ)を設置
4月 新制服(スーツスタイル)を採用
10月 NTTドコモヒドリカム授業
【クラブ活動】
・硬式野球部:第79回センバツ大会出場(2回戦)

平成20年(2008) 4月 関西大学北陽高等学校と改称、一期生入学
4月 コース改編(I類・II類・総合進学・スポーツ)
【クラブ活動】
・陸上競技部:白杵諒亘(インターハイハンマー投げ8位)
・男子バレーボール部:全国私学大会初出場



関西大学北陽高等学校の校章は、「大学」の二文字を
葦の葉で囲んだ関西大学の校章の上に、「北陽」の
文字を印字したものである。スクールカラーはブルー(紫紺)。



合併基本契約調印式



クラブ展示室



1年生宿泊オリエンテーション



1年生カルタ大会



創立80周年記念式典



2005～



米川修二監督率いる陸上競技部が、全国高校駅伝大会大阪予選(男子)で念願の初優勝を果たす。12月、選手たちは「何苦楚魂」を胸に秘め、冬の都大路を全力で駆け抜けた。

平成21年(2009) 4月 総合進学コースの募集を停止

8月 オーストラリア語学研修開始

12月 修学旅行がサイパン島からグアム島へ変更

【クラブ活動】

- ・陸上競技部:第60回全国高校駅伝大会(男子)初出場(45位)
- ・硬式野球部:第91回全国選手権大会大阪大会(準優勝)
- ・水泳部:全国JOC(リレー6位)
- ・ハンドボール部:第33回全国高校選抜大会出場

平成22年(2010) 4月 高校校舎の隣に関西大学北陽中学校が開校

【クラブ活動】

- ・陸上競技部:第61回全国駅伝大会(男子)出場(34位)、小林隼(日本ユースやり投げ6位)、本間真吾(日本ジュニア室内大会走り幅跳び8位)
- ・水泳部:全国JOC(リレー8位)
- ・スキーパーク:岡村海(ノースアメリカ大会モーグル出場)
- ・柔道部:松元一平(国体ベスト16)

平成23年(2011) 12月 修学旅行がグアム島から沖縄県石垣島へ変更

【クラブ活動】

- ・陸上競技部:第62回全国高校駅伝大会(男子)出場(38位)、小林隼(国体やり投げ4位)、水間洋太(日本ジュニア大会800m4位)
- ・水泳部:全国JOC(リレー7位)、前井卓也(全国JOC50mバタフライ6位)
- ・創作ダンス部:第25回芸術文化祭初出場
＊以降、平成26年まで連続出場
- ・ジャズバンド部:第27回ジャパンスクールデュエットジャズフェスティバル(ベストスイング賞)

平成24年(2012) 【クラブ活動】

- ・陸上競技部:第63回全国高校駅伝大会(男子)出場(27位)、宮田弘輝(インターハイ三段跳び優勝)
- ・スキーパーク:岡村海(第9回千葉松之山温泉モーグル競技会2位)、ノースアメリカ大会出場
- ・スケート部:全国フィギュア選手権大会(団体優勝)
- ・ジャズバンド部:第4回国際ジュニアジャズフェスティバル(ベストハーモニー賞)



修学旅行(沖縄県石垣島)



関西大学北陽中学校校舎竣工式



関西大学北陽中学校の校舎

2009~



スポーツ大会



弁論大会



修学旅行(沖縄県石垣島)



陸上競技部(第60回全国高校駅伝大会予選)



陸上競技部(第62回全国高校駅伝大会)



宮田弘輝(インターハイ三段跳び優勝)

創作ダンス部(第25回芸術文化祭)



ジャズバンド部



陸上競技部(第61回全国高校駅伝大会)

OBトピックス

2009年

岡田彰布氏(昭和51年卒)がオリックスバファローズ監督に就任(～2012年)



2009年

桂春菜氏(本名:濱田大助、平成5年卒)が三代目桂春蝶を襲名



2010年

足立宗央氏が6代目同窓会会长に就任



2011年

松井繁氏(昭和63年卒)が競艇の公営競技史上初の生涯獲得賞金30億円突破を果たす



新総合体育館や人工芝グラウンドの完成など、知・徳・体の調和のとれた人間を涵養する環境はますます整備が進んでいる。これからも、この学び舎で、北陽の伝統と建学の精神は受け継がれていく。

平成25年(2013) 4月 コース改編(I類→特進・文理コース、II類→募集停止、スポーツ→2クラス編成)

9月 新総合体育館が完成

【クラブ活動】

・水泳部:

橋本凌輔(全国JOC100m平泳ぎ6位)、
大芦知央(全国JOC100m背泳ぎ6位)

・ボクシング部:

丸田陽七太(インターハイフライ級準優勝、
ASBCジュニア選手権大会ライトバンタム級銅メダル)、
岩井尚斗(ASBCジュニア選手権大会ライトフライ級銅メダル)、

・スキーパー:

渡辺大晴(モーグル高校生ランキング1位)

・スケート部:

全国フィギュア選手権大会出場(団体優勝)、
中村優(全国フィギュアジュニア選手権大会3位)

平成26年(2014) 3月 人工芝グラウンドが完成

【クラブ活動】

・陸上競技部:

藤田渓太郎(日本ユース、日本ジュニア室内大会走り高跳び優勝)、
澤田宗一郎(日本ジュニア室内大会1500m8位)

・水泳部:

大芦知央(日本高校選手権100m背泳ぎ6位、全国JOC100m同2位、200m同4位)
古賀千尋(全国JOC100m自由形6位、平泳ぎ6位)

橋本凌輔(全国JOC200m平泳ぎ5位)

・ボクシング部:

丸田陽七太(インターハイバンタム級準優勝、プロテスト合格)
岩井尚斗(高校選抜大会ライトフライ級出場)

吉名慎太郎(高校選抜大会ピン級出場)

・スキーパー:

渡辺大晴(フリースタイルモーグル優勝、ワールドカップ出場)

・スケート部:全国フィギュア選手権大会出場(団体優勝)

・創作ダンス部:全日本チアダンス選手権出場

・ジャズバンド部:第6回国際ジュニアジャズフェスティバル(ベストハーモニー賞)



オーストラリア語学研修



新総合体育館



平成27年(2015) 3月 鈴木清士氏、退職

4月 田中敦夫氏、第11代校長に就任



【クラブ活動】

・ボクシング部

岩井尚斗(高校選抜大会フライ級出場、インターハイフライ級出場)

・柔道部:インターハイ団体初出場(1回戦)、

東阪泰輔(全国新人戦ベスト16、インターハイ[2回戦])

・ハンドボール部:第38回全国高校選抜大会出場(1回戦)

・陸上競技部:インターハイ出場(1600mリレー7位)、
藤田渓太郎(インターハイ走り高跳び優勝)、
澤田宗一郎(インターハイ800m8位)

高砂大地(全国高校選抜大会10000m3位)

・水泳部:大芦知央(インターハイ100m背泳ぎ優勝)

・トランポリン部:全国大会出場(団体女子3位)

・ジャズバンド部:第31回ジャパンスチュードント

ジャズフェスティバル(甲陽音楽学院賞)

※8月末時点



新総合体育館竣工記念試合



人工芝グラウンド完成記念試合



人工芝グラウンド

OBトピックス

2013年

岡田彰布氏が7代目同窓会会長に就任

2015年

又吉直樹氏

(平成11年卒)

が『火花』で

第153回芥川賞

を受賞



ハンドボール部(第38回全国高校選抜大会)



大芦知央(インターハイ100m背泳ぎ優勝)



柔道部(インターハイ団体)

2013~



合併にまつわる3つのエピソード



北陽創立90周年にあたり、記念誌の原稿の執筆をさせて頂くという、貴重な機会を与えて下さいましたことを心から感謝いたします。北陽高等学校から関西大学北陽高等学校に生まれ変わったその姿と経緯を、私は校長としてつぶさに見ることができました。関西大学と福武学園と両法人に対し、万感の気持ちを込めて、感謝の念を捧げたいと思います。とりわけ、当時の理事長であった森本靖一郎氏は、関大北陽にとっての最大の恩人として語り継がれていかねばなりません。

90周年の想い出として、「合併にまつわる3つのエピソード」を書かせていただきました。関大北陽という“いのちつながり”にまつわる、知られざるお話を。

第10代校長 鈴木 清士

Episode 1 エピソード

北陽を支えた山岡家と

北陽の母体となった北陽商業学校の設立者は山岡倭氏(順太郎氏のご長男)です。関西大学の熊博毅氏(学術情報事務局次長)から「山岡倭氏のご長男である康氏とお会いになられませんか」というお話を聞いた時には、倭氏のご子息がご存命であるとは考えていかっただけに驚きました。しかし、「この方は北陽を今日までつないで下さった恩人のお身内。なんとしても感謝の気持ちを伝えなければ」との思いで、平成21年4月23日に関西大学の博物館において康氏にお会いすることになりました。

糸島校長がよく家にいらっしゃった頃は、私はまだ幼稚園の子どもでした…会食をしながら、康様からいろいろお話を伺うことができました。とりわけ、経済が急変してから後の倭氏のご苦労は、関大に対する愛情、とりわけスポーツに対する熱い想いが人一倍あったからこそ、より大変なものだったことがよく伝わってきました。

その日は、康氏のご子息である洋氏ご夫婦もお見えになられました。順太郎氏が初めは医者を目指していたという展示のパネルを見て、洋氏が「そうだったの? 知らなかった!」と感動していました。歯医者をしている洋氏には、曾祖父に対して同じDNAを感じ取ったのでしょうか。わずか1時間あまりのひと時でしたが、80年の悠久の流れが一気に凝縮されたような、とても充実した一コマのように感じました。

その後、「関西大学と北陽との縁について」(『関西大学年史紀要』第19号)執筆のために電話でお話を聞きしたり、また康氏から喫茶店に呼び出されてお話を伺いました。康氏のお話から得られた情報は、創立の経緯における不明な部分を埋め、いくつかの断片的な史実をつないでくれました。康氏は、終始貫してご尊父である倭氏に対する敬慕の念を吐露されておりました。「糸島校長すなわち北陽には、山岡順太郎・倭父子に無量の恩義がある…」私は北陽90年の歴史に、血の通った命が吹き込まれたように感じ、心から感謝しました。



写真左より、鈴木前校長、山岡康氏、山岡洋ご夫妻

Episode 2 エピソード

深い縁のある関大との合併

昭和18年の戦時非常措置令により、商業学校は工業学校への転換を余儀なくされます。商業教育に賭けていた糸島校長は、北陽商業学校の存続を考えます。同じ頃、関西スピンドルという会社の経営者であった福武平十郎氏は、会社経営と並行して、青年の教育のために「福武工学校」という民間の学校を立ち上げ、さらに学校を大きくしたいという願いを持っています。

そんな糸島校長と福武平十郎氏が運命的な出会いをします。糸島校長は、福武工学校との統合によって北陽の存続を図ります。そして、「北陽という法燈を消さないでいただきたい」という糸島校長の切なる願いを、福武氏は全面的に受け入れます。「北陽高等学校」の歴史はここから始まります。

平成も10年を過ぎると生徒数の急激な減少からどこの私学も経営難の時期に入ります。北陽の生徒減少率は大阪平均を上回り、ピーク時の3分の1まで減少していきます。北陽の経営基盤を根底から立て直すにはどこかの大学と提携するしかないと私は教頭時代から考えていましたが、「しかし、合併となればお世話をした福武学園を消滅させることになる。校長としてどう対応すべきか」と大いに悩みました。最終的には、福武学園の福武道裕理事長のご英斷があり、関西大学との合併に踏み切ることになりました。

理事であった林敏夫元校長からは、「縁のない大学の傘下に入るわけではない。長い歴史を紐解けば、北陽はもともと関西大学と深い縁があった。北陽を関西大学にお返しさせて頂くことができる、と考えればよい」と私を後押しして下さいました。

福武平十郎氏は他界されていましたが、奥様の鈴江さんは車いすの生活ながらご存命でした。そして、「北陽をこれからも進化発展させてください」というお言葉を頂きました。

合併の一年前の話です。こうして北陽の歴史を築いてこられたお二人の方から、校長として無力であった私を勇気づけてくださいました。改めて、お二人の御靈に感謝申し上げます。



Episode 3 エピソード

中学校開校までの道



関西大学北陽高等学校がスタートして間もなく、関西大学の関係有識者が集まって行われる経営審議会において「北陽も早い段階で中学校をつくるべきである」という意見が出され、理事会において平成22年4月に開校ということが決まりました。

中学校の設立は林敏夫元校長の悲願もありました。しかし、そこから開校までの道のりは決して平坦ではありませんでした。「3クラス分の入学者を集められる根拠を示せ」と私学・大学課から言われ、そのたびに資料を作成して川端事務長とヒアリングに赴きました。“産みの苦しみ”でしたが、今となっては懐かしい思い出です。しかし、最も頭を痛めたのは、少数ですが中学校開校に難色を示された自治会の方々への対応でした。

自治会の数名の方から、「中学校ができれば、今以上に上新庄駅の道路は北陽の生徒であふれ、地元住民にとってはだ迷惑である」との意見が上がっていました。校舎建築工事に関する近隣説明会が平成20年9月16日に行われましたが、その日も住民に納得させることができなければ署名をとて反対運動を行う、ということを言われました。駅前の道路の拡幅工事をしていただくよう、何度も建設局へ足を運びましたし、竹中工務店の方には献身的な説得もしていただきましたが、なかなか反対を唱える方々の意向を変えることは叶いませんでした。

それが急転直下、「中学校建設に地元はすべて了承」という結果になったのは、現関西大学校友会の寺内俊太郎会長が、公私ともご多忙の中、自治会の方々に対し何度も何度も足をお運び頂き説得にあられたからです。

寺内会長からは「関西大学の人間として、上新庄近隣の住民として、できることをさせていただいたまでのことです」と言われました。北陽中学校の大切な恩人として、決して忘れてはならないお人です。

学校生活を彩る様々な行事の中で、北陽としての一体感が生まれる学園祭。
校舎や時代は変わっても、生徒の爽やかな笑顔と賑やかな歓声は今も昔も変わらない。

体育祭

現在の体育祭では、赤・青・黄の3団に分かれて団対抗で各種競技が行われている。中でも各団が寸暇を惜しんで練習を重ね、毎年趣向を凝らして披露する応援合戦は、今や体育祭のメインイベントとなっており、その見事な演技は観客に大きな感動を与えていている。



文化祭

文化祭前日のプレフェスティバルでは、文化系クラブとクラスが演奏やダンスなど様々なパフォーマンスを発表する。そして、澄み切った秋空の下で催される文化祭は、毎年多くの来場者で溢れ、食事や鑑賞など思い思いの時間を過ごして楽しんでいる。



古くからの伝統を継承するクラブと、関西大学の併設校となって誕生し、これから伝統を築いていくクラブ。
2015年現在、体育系クラブは21団体を数え、ますます活況を呈している。部員たちは自分の力の可能性を信じて、信頼する仲間とともに目標の実現のために日々練習に励んでいる。

■ 体育系クラブ



●硬式野球部



●サッカー部



●陸上競技部



●剣道部



●卓球部



●ラグビー部



●ボクシング部



●空手道部



●男子硬式テニス部



●スキー部



●女子バレーボール部



●女子バスケットボール部



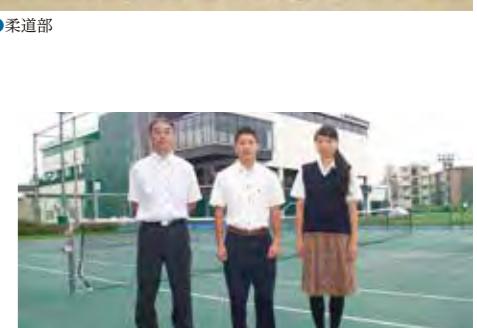
●スケート部



●水泳部



●男子バレーボール部



●柔道部

文化系クラブは、2015年現在14団体あり、おもに発表会やコンクールなどで日々の活動の成果を発表する。また、プレフェスティバルや文化祭での発表・展示は高校生活最大の見せ場である。放課後になると部員たちは、作品の完成を目指して、皆と楽しみながらも真剣に活動に取り組んでいる。

■文化系クラブ



●ジャズバンド部



●美術部



●写真部



●将棋部



●ESS

●歴史研究部

●釣り部

●放送部

●科学部

●茶華道部

●生徒会

生徒会誌

生徒会

生徒会は学校生活の充実を図るとともに、生徒が中心となって行う諸行事のまとめ役を担っている。また、『生徒会誌』の発行や、2011年の東日本大震災の時には上新庄駅で募金活動をしたり、定期的に通学路を掃除するなどボランティア活動も活発である。2015年度は、佐野圭太朗君が生徒会長として執行部をまとめ、様々な活動に取り組んでいる。